

一般財団法人 丸一・フレッド記念財団

2026年度 児童養護施設等助成金募集 選定結果

【募集期間：2026/2/24～2026/3/23】

本年度は22件の応募があり、その中から下記の11施設を選考委員会で選定しました。

No.	施設名	所在地	助成金申請事業	内容（要約）
1	じぶん未来クラブ	千葉県流山市	Heart Globalインターナショナル・ミュージック・アウトリーチ・プログラムin Japan 支援プロジェクト （自己表現教育プログラムを提供）	子どもたちが日常では得にくい体験へ参加しやすくなるよう、外部資源を活用した機会提供を行う。活動を通じて自己肯定感や挑戦意欲を育み、他者と協働する経験を得られる点で、成長支援としての意義が高い。対象や実施場所を限定せず、広く参加機会の充実を図る内容である。
2	大阪福祉事業財団高鷲学園	大阪府引羽曳野市	生活環境整備 （マットレス更新）	生活環境の一部を更新することで、子どもたちがより安心して過ごせる衛生的で快適な基盤を整える。老朽化した備品の改善は心身の休息や日々の生活の質向上につながり、安心感のある環境づくりに寄与する。具体的な居室配置等に触れず、生活面の改善効果を重視する。
3	児童養護施設 四恩たまみず園	大阪府大阪市	宿泊体験プログラム事業 （野外キャンプ場で仲間と協力する力や責任感をくぐむ）	宿泊や屋外での体験活動を通じて、子どもたちが集団で過ごす楽しさや基本的な社会性を学ぶ機会を広げる。普段とは異なる環境での経験により、自立心、協調性、ルールを意識する力の育成が期待できる。実施手順を特定せず、成長支援の効果を中心に示す。
4	児童養護施設 四恩学園	大阪府大阪市	宿泊体験プログラム事業 （野外キャンプ場で仲間と協力する力や責任感をくぐむ）	宿泊や屋外での体験活動を通じて、子どもたちが集団で過ごす楽しさや基本的な社会性を学ぶ機会を広げる。普段とは異なる環境での経験により、自立心、協調性、ルールを意識する力の育成が期待できる。実施手順を特定せず、成長支援の効果を中心に示す。
5	児童養護施設花園精舎	大阪府東大阪市	ICT教育環境の整備とネットリテラシー教育による学力向上・進学支援 （タブレット等購入）	学習や将来の自立に必要なデジタル環境を整え、子どもたちが基礎的な情報活用力を身につけられるよう支援する。新しい機器に触れる機会を増やすことで、学習意欲の向上と社会で必要となる力の土台づくりが期待される。個別の支援体制を示さず、教育面の効果を説明する。
6	やくし乳児院	鹿児島県鹿児島市	健康で安心安全な環境で養育するための環境整備 （オゾン発生装置付き空気清浄機購入）	空気環境を整える設備を導入し、子どもたちがより安心して過ごせる衛生的な生活空間の維持を図る。感染症等への不安を軽減し、健康面に配慮した環境を整備することで、日常生活の安全性向上に資する。設置場所や管理方法を特定せず、環境改善の目的を表す。
7	聖オディリアホーム	東京都中野区	居室環境向上のための室内洗濯乾燥スペース設備の整備 （保育室物干し金具設置工事）	日常生活で発生する衣類等を衛生的に扱える環境を整えることで、子どもたちの生活空間の快適性と安全性を高める。清潔な物品管理を支える基盤整備として、健康面への配慮と生活の質向上が期待される。具体的な保管場所や手順には触れず、衛生面の効果を示す。
8	日本児童育成園まりあ	岐阜県岐阜市	ベビーセンサー更新事業 （シエスタベ機器導入）	見守りに関わる設備を更新し、子どもたちの安全確保に必要な基盤を強化する。機器の老朽化による不安を軽減し、異変への気づきを支える環境を整えることで、重大な事故の予防と安心感の向上につながる。製品名や運用方法は示さず、安全面の効果に集約する。
9	米子聖園ベビーホーム	鳥取県米子市	戸外遊び充実のための環境整備 （遊具購入）	年齢に応じた遊びの環境を整えることで、子どもたちが体を動かす楽しさを感じながら、基礎的な運動能力や挑戦する意欲を育めるようにする。他者と関わりながら遊ぶ経験は、社会性の発達にもつながる。具体的な場所や遊具の使い方を避け、発達支援の意義を示す。
10	静岡乳児院	静岡県静岡市	教育環境設備支援 （タブレット購入）	記録や共有に活用できる情報機器を更新し、子どもたちへの支援をより丁寧に行える環境を整える。日々の様子を多角的に把握しやすくすることで、関係者間の理解を深め、支援の質向上につなげる。会議体や共有手順を特定せず、支援充実の効果に焦点を当てる。
11	玉葉会乳児院	愛知県名古屋	安全に食事提供ができる環境整備 （配膳ワゴン新規購入）	食事提供に関わる備品を安全性の高いものへ更新し、子どもたちが安心して食事の時間を過ごせる環境を整える。老朽化による危険を減らし、生活場面における安全確保と支援者の負担軽減が期待される。具体的な配置や運搬方法に触れず、生活支援の効果を示す。